10 D J S	LUC 1 001 k		初日夕 胡傑平自用华市				
科目ナンバー教員名	HIS-1-001-k ナックキ				朝鮮半島現代史 2020年度 後期	出片米	2
教員名	大沼 久夫			用誦中及子期	2020年度 後期	単位数	
概要		島の現代史、南北の			歴史、特に日本の植良 きた韓国と北朝鮮のそ		
到達目標		せの歩みにもつねにz)関係について知り、			国、朝鮮半島の現代	史を学び、日本	と韓国、日
「共愛12の力」と	:の対応						
<u></u> 識見		自律する力		コミュニケーショ	ョンカ 問題	題に対応する力	
共生のための知識 〇		自己を理解するカ 〇		伝え合う力	〇 分柱	析し、思考する力 〇	
共生のための態	度	自己を抑制する力		協働する力	構想	想し、実行する	カ
グローカル・マイ ンド		主体性		関係を構築する	3カ (実)	浅的スキル	
教授法及び課題 フィードバック方 法		ュメ、史料を配布し、	、ニュース映	像で当時の様	子を振り返りながら学	¹ ぶ。	•
アクティブラーニ	アクティブラーニング(サービスラーニング		課題解決型学	修	
受講条件 前 科目	提 東アジア比	較文化論等の関連科	斗目の受講が	が望ましい。			
アセスメントポリ シー及び評価方	期末試験と	課題書の感想レポー	ト、議論参加	加度の総合評価	ī .		
教材	テキストを	準備、使用する予定。	,				
参考図書	テーマ毎に	紹介 課題書リスト(糸	約40冊)で提	示			
内容・スケジュー	ル						
1週目							
授業学修内容	日本の敗戦と	朝鮮の解放 植民地3	支配の終わり	18月15日の歴9	史的意義		
授業外学修内 容	日本と朝鮮半り	島の近現代史につい	て調べてみ	る。		時間数 1	
2週目	•					•	
授業学修内容	米ソ両軍の分	断占領 北緯38度線	独立国家再	建の動き			
授業外学修内 容	米国と旧ソ連の冷戦について考える				時間数		
3週目	•					•	
授業学修内容	ソ連軍の北朝	鮮占領と政策 金日原	成の帰国				
授業外学修内 容	北朝鮮とはどんな国か					時間数 1	
4週目	•					•	
授業学修内容	アメリカ軍の南	朝鮮占領と政策李承	承晩の帰国				
授業外学修内 容	韓国はどんな国か					時間数 1	
5週目						l l	
授業学修内容	連合国の朝鮮	 政策 モスクワ協定 <i>の</i>)内容				
授業外学修内 容	米ソ両国の朝鮮	鮮半島政策と目的を	考える			時間数	
	1					1	
授業学修内容	信託統治をめ	ぐる対立 分断へのく					
授業外学修内 容	なぜ反対と賛用	或に分かれたのかを	考える			時間数 1	
F .	ı						

7週目								
授業学修内容	米ソ冷戦の始まりと朝鮮半島							
授業外学修内 容	米ソ冷戦が朝鮮半島にどんな影響を与えたか		1					
8週目								
授業学修内容	二つの国家の成立 分断の固定化							
授業外学修内 容	当時の朝鮮半島の人びとはどう対応したのかを知る	時間数	1					
9週目								
授業学修内容	容 朝鮮戦争の始まり 内戦から米中戦争へ							
授業外学修内 容	この戦争の原因とその結果を考える		1					
10週目								
授業学修内容	朝鮮戦争と日本 再軍備への道							
授業外学修内 容	占領下の日本が朝鮮戦争にどのように関与、協力したのか		1					
11週目	11週目							
授業学修内容	韓国の軍事独裁体制と経済成長民主化闘争 60年代~80年代の韓国							
授業外学修内 容	経済成長前の韓国とその後を知る	時間数	1					
12週目								
授業学修内容	北朝鮮の独裁体制 金親子三代世襲体制 60年代から80年代の北朝鮮							
授業外学修内 容	北朝鮮の独裁体制とはなにか		1					
13週目								
授業学修内容	日本と韓国 日本と北朝鮮							
授業外学修内 容	北朝鮮の日本人拉致問題とは	時間数	1					
14週目								
授業学修内容	冷戦後の朝鮮半島 90年代以後の韓国と北朝鮮							
授業外学修内 容	冷戦後の朝鮮半島の状況		1					
15週目								
授業学修内容	容 南北朝鮮の関係の変化 対立から共存関係へ 日本との関係 まとめ							
授業外学修内 容	今後の朝鮮半島と日本との関係時間数		1					
上記の授業外学修時間の合計 9								
その他に必要な自習時間 81								
<u> </u>								

Number	HIS-1-001-k		Current History of the Korean Peninsula				
Name	大沼 久夫(Onuma Hisao)	Year and S emester	Second semester for 2020	Credits	2		
	In this lecture, aim for understanding about the post-war history of the Korean Peninsula ,whic h has historically been deeply connected with Japan and East Asia.						